

目指す実習で大切にしたいこと

実習に臨む姿勢

- チャイムで始め、チャイムで終わる。(時間いっぱい粘らせる)
- 家庭の協力を得ながら衛生的な実習服の着用と実習服の正しい着こなしを徹底させる。
- 実習に取り組む際のきまりを決めて提示する。
- 自らメモをとる習慣が身につくよう、常に筆記用具を携帯させ、場の設定を行う。
- 「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「躰」(5S)をはじめとした危機管理と安全意識の高揚を呼びかける。

ユニバーサルデザイン

- わかりやすい教材・教具を活用する。(具体物、写真、ICTなど)
- ワークシートや課題プリントは、読みやすく、書きやすいように工夫する。
- 授業の流れや内容が分かり、学習内容を振り返ることができるよう板書構成を工夫する。
- すべきことがはっきりと分かるよう、1つの指示で1つの行動を促す発問・指示を行う。
- 農具名、栽培計画、飼養管理法、機械の操作等をわかりやすく掲示する。

目標提示

- 本時の実習目標、注意点をわかりやすく、生徒に示し理解させる。

自 力

- 個々の達成感を高めるように工夫する。
- 機械や器具、資材の正しい取扱が徹底できるように工夫する。
- 「安全・安心」な生産物を消費者に届けるという意識を高める工夫をする。

協 働

- ペア実習、グループ実習など、ねらいに応じて様々な実習の形態を工夫する。
- お互い認め合い、分からないことを出し合い、協力して実習に取り組む雰囲気をつくる。
- 間違いや失敗は否定せず、いったん受け止め、次へとつながる解決方法を生徒に考えさせる。
- 良い反応や考えを取り上げ、その価値を共有し、肯定的に耳を傾ける雰囲気をつくる。

まとめ・振り返り

- 本時の目標に沿ったまとめを行う。
- 最後まで真剣に取り組んだり、仲間と協力して実習に取り組んだ姿を認め、褒める。

学習の深化

- 生徒自身が実習を振り返ることで成長を意識させ、次のステップの目標(課題)や取組みにつなげる。
- プロジェクト学習とポートフォーリオを両軸とした学習展開で専門教科の学びを深化させる。